

「セラミックエンドタブ」とは

セラミックエンドタブは厚板の溶接の端部に配置し、継手端部の溶接金属の堰き止めと形状形成を行うものです。溶接時の耐熱衝撃性、使用後の剥離性などが求められます。主に建築鉄骨造などの厚板で溶接距離の短い場合に用いられます。開先形状に合わせ、様々な形状のセラミックエンドタブがございます。

鉄骨溶接用以外の汎用タイプもございます。また金型費が必要ですが、特注型も製作できます。

